

年 号	矢 祭 町 の で き ご と	世 の 中 の で き ご こ
明治 8 年 (1875)	○ 茗荷 <small>みよが</small> 分校が植田小学校 (今の高城小学校) の分校として開設された。 (11/1)	
9 年 (1876)	○ 石井小学校が火災になった。 (10/10) ○ 東館 <small>ちゆうざい</small> に駐在所が置かれた。 (10月)	○ 磐前 <small>いわさき</small> 県と若松 <small>わかまつ</small> 県が合併 <small>がっ</small> して福島県となった。
12 年 (1879)	○ 東館・内川・関岡・上関・中石井に戸長役場が置かれた。 (12/4)	○ 教育令が公布され、学制 <small>はい</small> が廃止された。 (9/29) ○ 郡区を改正して郡役所 <small>ぐん ちやう</small> に郡長を置いた。 (12/4)
13 年 (1880)		○ 福島 <small>しゆう</small> 県の小学校への就学率 <small>りつ</small> が45.6パーセントになった。
15 年 (1882)		○ 安積 <small>あさか</small> 疎水 <small>そすい</small> が開通した。 ○ 三島 <small>つうよう</small> 通庸 <small>けんれい</small> が県令 (今の知事) になった。 (11/25)
16 年 (1883)	○ 役場 <small>く</small> の区画が改正されて7役場が置かれた。 (11/29)	
17 年 (1884)	○ 久慈 <small>くじ</small> 川 <small>こう</small> に大洪水が起きた。 (9/19) ○ 婦人 <small>ふ</small> の洋装 <small>そう</small> がさかんになった。	○ 郡内 <small>ようさん</small> に養蚕 <small>きよし</small> 教師 <small>まね</small> を招き、桑苗 <small>くわなえ</small> の貸付け <small>かしつ</small> を始め養蚕 <small>ようさん</small> が始められた。
18 年 (1885)	○ 八槻 <small>やつき</small> 、大ぬかりまでの道路 <small>しゆう</small> が修理されて開通した。 (11/1)	
20 年 (1887)	○ 町村 <small>ぶんごう</small> 分合で豊里村 (9か村) 高城村 (7か村) 石井村 (4か村) になった。	○ 東京に初めて電燈がついた。
21 年 (1888)		○ 磐梯山 <small>ばんだいさん</small> が噴火 <small>ふんか</small> した。
22 年 (1889)	○ 戸長役場 <small>はい</small> が廃止 <small>とよさと</small> されて、豊里、石井、高城村にそれぞれ役場が置かれた。 (6月)	○ 大日本帝国憲法 <small>ていこくけんぽう</small> が公布された。
23 年 (1890)		○ 第1回帝国議会 <small>ていこくぎかい</small> が開かれた。